

## 平成28年第1回砂川市議会定例会

平成28年3月11日（金曜日）第5号

### ○議事日程

#### 開議宣告

- 日程第 1 議案第 7号 平成28年度砂川市一般会計予算  
議案第 8号 平成28年度砂川市国民健康保険特別会計予算  
議案第 9号 平成28年度砂川市下水道事業特別会計予算  
議案第10号 平成28年度砂川市介護保険特別会計予算  
議案第11号 平成28年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第12号 平成28年度砂川市病院事業会計予算  
散会宣告

### ○本日の会議に付した事件

- 日程第 1 議案第 7号 平成28年度砂川市一般会計予算  
議案第 8号 平成28年度砂川市国民健康保険特別会計予算  
議案第 9号 平成28年度砂川市下水道事業特別会計予算  
議案第10号 平成28年度砂川市介護保険特別会計予算  
議案第11号 平成28年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第12号 平成28年度砂川市病院事業会計予算

### ○出席議員（12名）

議 長	飯 澤 明 彦 君	副議長	水 島 美喜子 君
議 員	多比良 和 伸 君	議 員	増 山 裕 司 君
	中 道 博 武 君		佐々木 政 幸 君
	武 田 真 君		武 田 圭 介 君
	辻 勲 君		北 谷 文 夫 君
	沢 田 広 志 君		小 黒 弘 君

### ○欠席議員（1名）

増 井 浩 一 君

### ○ 議 会 出 席 者 報 告 ○

1. 本議会に説明のため出席を求めた者は次のとおりである。

砂 川 市 長 善 岡 雅 文

砂川市教育委員会委員長	遠藤芳春
砂川市監査委員	奥山昭
砂川市選挙管理委員会委員長	其田晶子
砂川市農業委員会会長	渡邊勝郎

2. 砂川市長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

副市長	角丸誠一
病院事業管理者	小熊豊
総務部長兼会計管理者	湯浅克己
総務部審議監	熊崎一弘
市民部長	高橋豊
経済部長	田伏清巳
建設部長	古木信繁
病院事務局長	氏家実
総務課長	安田貢
政策調整課長	河原希之

3. 砂川市教育委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

教育長	井上克也
教育次長	和泉肇

4. 砂川市監査委員の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

監査事務局長	中出利明
--------	------

5. 砂川市選挙管理委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

選挙管理委員会事務局長	湯浅克己
-------------	------

6. 砂川市農業委員会会長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

農業委員会事務局長	田伏清巳
-----------	------

7. 本議会の事務に従事する者は次のとおりである。

事務局長	峯田和興
事務局次長	高橋伸二
事務局主幹	佐々木純人
事務局係長	渡部秀樹

開議 午前10時00分

◎開議宣告

○議長 飯澤明彦君 おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の届け出のあった方を事務局長に報告させます。

○議会事務局長 峯田和興君 本日の会議に欠席と届け出のありました議員は、増井浩一議員であります。

○議長 飯澤明彦君 議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

直ちに議事に入ります。

- ◎日程第1 議案第7号 平成28年度砂川市一般会計予算  
議案第8号 平成28年度砂川市国民健康保険特別会計予算  
議案第9号 平成28年度砂川市下水道事業特別会計予算  
議案第10号 平成28年度砂川市介護保険特別会計予算  
議案第11号 平成28年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第12号 平成28年度砂川市病院事業会計予算

○議長 飯澤明彦君 日程第1、議案第7号 平成28年度砂川市一般会計予算、議案第8号 平成28年度砂川市国民健康保険特別会計予算、議案第9号 平成28年度砂川市下水道事業特別会計予算、議案第10号 平成28年度砂川市介護保険特別会計予算、議案第11号 平成28年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算、議案第12号 平成28年度砂川市病院事業会計予算の6件を一括議題とします。

各議案に対する提案者の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長 湯浅克己君 (登壇) 議案第7号 平成28年度砂川市一般会計予算についてご説明を申し上げます。

最初に、予算書の1ページをお開きいただきたいと思います。第1条は、歳入歳出予算であります。歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ114億3,500万円と定めるものであります。この予算は、平成27年度6月補正後の予算と比較いたしますと5億4,400万円の減となり、対前年比で4.5%の減となったところであります。

第2条は、継続費であります。8ページ、第2表、継続費に記載のとおり、2款総務費、1項総務管理費の基本構想・基本計画策定支援業務委託1,375万円について平成28年度、平成29年度の2カ年の継続事業として、8款土木費、5項住宅費の北光団地用地確定測量業務委託3,024万円について平成27年度、平成28年度の2カ年の継続事業として、総額及び年割額を定めるものであります。

第3条は、債務負担行為であります。9ページ、第3表、債務負担行為に記載のとおり、土地開発公社事業に対する債務保証について期間を平成28年度から平成37年度まで、

限度額を14億円、土地開発公社用地買収（28年度分）について期間を平成28年度から平成31年度まで、限度額を1億6,471万9,000円と定めるものであります。

第4条は、地方債であります。10ページ、第4表、地方債に記載のとおり、公共事業等債以下7件について限度額の合計を9億4,600万円と定めるものであります。

第5条は、一時借入金であります。一時借入金の借り入れの最高額を30億円と定めるものであります。

第6条は、歳出予算の流用であります。同一管内で各項の間の経費の金額を流用することができる場合は、各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合と定めるものであります。

それでは、内容の説明を申し上げますが、市政執行方針の30ページに平成28年度予算大綱説明資料を添付しておりますので、これに沿いまして説明をしております。

歳出のほうから説明をいたしますので、34ページをお開きいただきたいと存じます。予算書におきまして事業ごとに説明をしておりますので、説明資料につきましても同様な表示としたところであります。説明資料につきましても、予算書のページを記載しておりますが、ページにつきましても省略をして説明させていただきます。また、各項の頭に付してある一つ丸は継続事業であり、二重丸及びアンダーラインを付してあるものは新規事業あるいは臨時事業であります。なお、括弧内の数字は平成26年度6月補正後の予算額であり、説明の中で前年度と比較する場につきましても、同様に平成27年度6月補正後の予算額との比較であります。それでは、二重丸及びアンダーラインの事業を中心に説明をしております。

1款議会費は1億46万2,000円で、前年度と比較して1,528万9,000円の減であります。

2款総務費は、4億4,770万3,000円で、前年度と比較して1,043万6,000円の減となりますが、主な要因につきましても、各種基金、積立金で2,382万4,000円、番号制度に係るシステム改修など1,528万円、各種選挙経費2,021万3,000円の減、ふるさと応援寄附金謝礼2,372万2,000円、旧豊沼中学校解体工事2,400万円の増によるものであります。

以下、新規事業や増減の主なものを申し上げます。1目一般管理費の一つ丸、職員の福利厚生に要する経費でストレスチェック業務委託料22万円は、労働安全衛生法の改正に伴い、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェックの実施が義務化されたことから、ストレスチェックの実施のほか、組織診断に基づく改善提案などに係る委託料であります。同じく二重丸、行政不服審査に要する経費3万7,000円は、行政不服審査法の改正に伴い、審査庁の判断の妥当性をチェックする第三者機関の設置が義務づけられたことから、5名の委員で構成する砂川市行政不服審査会を設置するものであり、審査会開催のための経費であります。同じく二重丸、庁舎建設の検討に要す

る経費234万円は、庁舎の建てかえに向けた検討を進めるため、庁舎建設の基本的な考え方、規模、建設候補地の選定、事業手法、財源、改築手法などの検討にさらに審議会運営方法なども加えた基本構想、基本計画の策定支援について2カ年の継続事業として委託する経費であります。

5目財産管理費の一つ丸、財産管理に要する経費でアスベスト等分析調査委託料35万円、旧豊沼中学校ブロック校舎等解体工事費2,400万円は、旧豊沼中学校は平成7年3月31日の閉校後、建物の老朽化が進み、特にブロック校舎の屋根は一部が剥がれている状況にあり、危険な状況であるため、アスベスト、焼却灰の分析調査委託料並びにブロック校舎及びトイレの解体工事費であります。同じく一つ丸、公用車の管理に要する経費で車両購入費252万1,000円は、市有車両の更新基準に基づき、公用車2台を更新するものであり、軽自動車2台の購入費であります。

6目企画費の一つ丸、移住定住促進に要する経費で建物借り上げ料96万円、備品購入費20万円は、これまで取り組んできたお試し暮らしのさらなる利用に向け、新たに民間中古住宅1棟を加えた3棟体制で実施することから、建物借り上げ料及び新規1棟分に係る必要最低限の家電等の購入費であります。同じく二重丸、地域おこし協力隊に要する経費344万9,000円は、移住定住促進事業の充実強化を図るため、ウェブデザイン等の知識のある者を地域おこし協力隊員として採用し、ホームページなどによる情報発信を強化するもので、隊員1名の報酬などの人件費、住宅及び車の借り上げ料、募集のための広告料、活動経費などであります。同じく二重丸、第6期総合計画の推進に要する経費31万8,000円は、平成23年度から10カ年を計画期間とする第6期総合計画が平成27年度をもって5年を経過したことから、中間年における評価として市民がこれまでの施策をどのように評価し、将来のまちづくりにどのような意見や要望を持っているかなどの調査及び計画の定める中間目標値の達成度を検証、分析し、今後5年間の施策の推進や次期総合計画策定の参考とするため、市民意識調査を実施する経費であります。同じく二重丸、出会い創出支援事業に要する経費101万円は、市内への定住促進、少子化対策を図るため、独身男女の出会いを創出する事業を実施する団体等に対し、支援を行う経費であります。

10目市民生活推進費の一つ丸、南地区コミュニティセンターの管理に要する経費で備品購入費3万3,000円は、製造から10年を経過した消火器6本を更新するものであります。同じく一つ丸、東地区コミュニティセンターの維持に要する経費で屋根、外壁改修工事費780万円は、建築後30年が経過し、剥がれや腐食が生じている屋根、外壁の改修工事費であります。同じく二重丸、予約型乗合タクシー運行に要する経費1,406万3,000円は、市民の日常生活に必要な交通手段を確保するため平成27年10月から運行している予約型乗合タクシーについて、運行事業者に対する運行経費の収支不足分の補助のほか、地域公共交通会議を開催するための事務経費などあります。

1 1 目情報化推進費の一つ丸、情報化推進に要する経費でネットワーク機器更新委託料 4 9 万円は、導入後 1 0 年を経過し、不安定な状況も見受けられるインターネットルーターを更新する委託料、情報機器廃棄処理委託料 9 万 7, 0 0 0 円は、サーバー、プリンターなどを適切に処理する委託料、パソコン借り上げ料 5 万 8, 0 0 0 円は、故障などで予備のパソコンが一時的に不足した場合の代替機の借り上げ料であります。

1 2 目電算管理費の一つ丸、電算管理に要する経費で機器更新委託料 5 3 3 万 6, 0 0 0 円は、保守サポート期間が終了する納付書の読み取り装置、無停電電源装置などの更新、機器の設定に係る委託料であります。番号制度システム整備委託料 3 5 1 万 5, 0 0 0 円は、平成 2 9 年 7 月からの本稼働に備え、税、国民年金、児童福祉システムの総合運用テスト、中間サーバーに係る設定作業の委託料であります。同じく一つ丸、財務会計システムに要する経費でシステム改修委託料 3 2 万 4, 0 0 0 円は、番号制度の施行に伴い、新たな源泉徴収票に対応するシステム改修の委託料であります。

1 3 目まちづくり推進費の二重丸、スマートインターチェンジの利用促進に要する経費 3 6 9 万円は、昨年 8 月に開通した砂川 S A スマートインターチェンジについて利用促進を図るため継続して実施する E T C 車載器の購入者に対する補助、開通後の利用状況などをもとにして実施計画に見込んだ整備効果の検証を行い、地区協議会における協議を進めるため委託する経費であります。同じく二重丸、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に要する経費 4 万 7, 0 0 0 円は、平成 2 7 年度に策定した砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について数値目標に関する達成度の検証などの進行管理を行うため外部有識者等を含めた検証委員会を設置するものであり、委員会を開催する経費であります。

1 目徴税费の一つ丸、市税の賦課事務に要する経費で軽自動車車検情報データ利用手数料 9 万 7, 0 0 0 円は、軽自動車税の経年車の重課、グリーン化特例による軽課に対応するため車両の初度検査年月、燃費性能などの検査情報を確認する必要性が生じたことから、全市町村に検査情報が提供される軽自動車車検情報市町村提供システムの利用料であり、ナンバープレート作成委託料 3 万 4, 0 0 0 円は、残数が少なくなった小型特殊自動車のその他のナンバープレートを作成する委託料であり、土地鑑定評価委託料 3 2 5 万 6, 0 0 0 円は、固定資産税における土地の評価額は適正な時価によるものとされ、地価公示価格、地価調査価格のほか、不動産鑑定士による鑑定評価から求め、その価格を活用することとされているため、平成 3 0 年度の評価がえに向け、9 6 地点を鑑定評価する委託料であり、課税資料電子化導入委託料 1 6 9 万 6, 0 0 0 円は、番号制度の施行にあわせ、事務の省力化、市民サービスの向上を図るため課税資料を電子化するシステムを導入する委託料であります。

次に、3 5 ページ、2 目参議院議員選挙費の二重丸、参議院議員選挙の執行に要する経費 1, 1 4 2 万 2, 0 0 0 円は、7 月に実施が予定される参議院議員選挙を執行する経費であります。

3款民生費は19億7,276万7,000円で、前年度と比較して5,683万2,000円の増となりますが、主な要因につきましては、年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業1,697万1,000円、知的障害者自立支援給付費3,187万6,000円、身体障害者自立支援給付費1,429万5,000円、病児・病後児保育施設設置工事2,290万円、多子世帯保育料負担軽減補助金1,561万1,000円の増、臨時福祉給付金支給事業1,410万円、生活保護費2,043万4,000円の減によるものであります。

1目社会福祉費の一つ丸、民生委員の活動に要する経費で退任民生委員記念品11万5,000円は、民生児童委員、主任児童委員の3年ごとの一斉改選に際し、退任される方に対し記念品を贈呈するためのものであります。同じく二重丸、臨時福祉給付金支給事業に要する経費2,022万1,000円は、低所得者に対し、消費税率等の引き上げによる影響を緩和するため適切な配慮を引き続き行うため、市民税が非課税で市民税が課税されている方に扶養されていない方を対象に1人当たり3,000円を支給するための経費であります。同じく二重丸、年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業に要する経費1,697万1,000円は、1億総活躍社会の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者等を対象に所得全体の底上げを図るとともに、個人消費の下支えにも資するよう支給するもので、臨時福祉給付金対象者のうち、障害または遺族基礎年金の受給者で平成27年度補正予算で実施する低所得の高齢者向け給付金の対象者を除き、1人当たり3万円を支給するための経費であります。同じく一つ丸、障害者福祉システムに要する経費で番号制度システム整備委託料164万6,000円は、平成29年7月からの本稼働に備え、障害者福祉システムの運用テストなどの委託料であります。

7目ふれあいセンター費の一つ丸、ふれあいセンターの管理に要する経費で総合防災盤改修工事費507万6,000円は、火災などの異常を受信する総合防災盤に故障が発生しましたが、機種が古く修理ができないことから、交換をする工事費であります。

1目児童福祉費の一つ丸、障害児対策に要する経費で難聴児補聴器購入費等扶助11万1,000円は、身体障害者手帳の交付対象外の軽度、中等度の難聴児は補聴器の購入、修理を自費で負担することになっていることから、保護者の経済的負担軽減のため、購入、修理に係る費用を扶助するものであります。同じく二重丸、病児・病後児保育に要する経費2,290万円は、子育て中の保護者が安心して就労できるよう、保育所などに入所中の児童が病気になった場合及び回復期に一時的に預かることができる病児・病後児保育施設を市立病院南館に開設するため、改修工事を行う経費であります。同じく二重丸、多子世帯保育料負担軽減補助金1,561万1,000円は、多子世帯における保育料の負担軽減については国の制度に基づき実施しておりましたが、第2子以降の出産を後押しするため、第1子とする年齢を撤廃し、保護者の経済的負担の軽減を図るものであり、補助額は第2子の児童は保育料の半額、第3子以降の児童は保育料全額であり、国に準じた保育

料を納めてもらった後、軽減分を補助するものであります。

3目保育所費の一つ丸、保育所の運営管理に要する経費で空知太保育所プール改修工事費43万9,000円は、経年劣化が見られる園庭にあるプールの改修工事費であります。同じく一つ丸、乳児保育に要する経費で代替保育士等賃金1,871万7,000円は、多子世帯の保育料負担軽減補助の実施に伴い、入所児童の増加が予想され、特に乳児の増加が見込まれるため、保育士の確保を図るためのものであります。

1目生活保護総務費の一つ丸、生活保護事務に要する経費でレセプト管理システム委託料59万4,000円は、生活保護等のレセプト管理システムを社会保険診療報酬支払基金から委託を受けた事業者がデータを管理、運用するクラウドサービスにより活用するための初期設定の委託料であり、番号制度システム整備委託料65万4,000円は、平成29年7月からの本稼働に備え、生活保護システムのシステム連携などの委託料であります。

4款衛生費は6億946万1,000円で、前年度と比較して3,880万5,000円の増となりますが、主な要因につきましては、予防接種委託料814万4,000円、中・北空知廃棄物処理広域連合負担金2,805万1,000円、ごみ処理場排水管改修1,690万2,000円の増、砂川地区保健衛生組合負担金1,684万2,000円の減によるものであります。

1目保健衛生費の一つ丸、保健衛生対策に要する経費で番号制度システム整備委託料76万7,000円は、健康管理システムのシステム連携などの委託料であります。

2目予防費の一つ丸、感染症予防に要する経費で予防接種委託料3,462万4,000円は、日本脳炎の予防接種を行う必要がないと認められる区域として指定されていた北海道が平成28年4月1日から区域を指定しないこととなったことから、定期予防接種を行うことにより増となるものであります。一つ丸、生活習慣病予防に要する経費でがん検診委託料1,543万8,000円は、がん検診の受診率向上のため、子宮がん、乳がん検診についてこれまで集団検診のみであったものを市立病院での個別検診の実施、2年に1回であった受診間隔を毎年実施とするなど、がん検診体制の見直しを図ることにより増となるものであります。二重丸、女性のためのがん検診推進事業に要する経費188万2,000円は、がん検診の受診促進、早期発見などを図るため子宮がん及び乳がん検診の無料クーポン券と検診手帳を配付しており、子宮がんは20歳から40歳までの5歳刻みの方、乳がんは40歳から60歳までの5歳刻みの方のうち、過去5年間一度も検診を受診していない方を対象に無料クーポンの配付を行う国の制度とともに、市独自に過去5年間に検診を受診している方も対象として無料クーポン券を配付するための経費であります。

3目母子保健費の二重丸、特定不妊治療費助成事業に要する経費225万円は、北海道特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けた不妊治療を希望する夫婦に対し、治療費の一部を助成する経費であります。



1目ごみ処理費の一つ丸、ごみ収集処理に要する経費でごみ処理場排水管改修工事費1,690万2,000円は、焼山ごみ処理場の浸出水は排水管に吸収させ、調整池にため、処理しておりますが、長年の使用により吸収能力に低下が見られることから、改善を図る改修工事費であります。ごみステーション用ボックス購入補助金186万円は、町内会で設置、管理を行っている家庭系ごみステーション用ボックスについて老朽化による更新、住民の高齢化に伴い、上開きを横開きへ変更の要望があることから、更新する費用の一部を補助するものであります。

次に、36ページになります。5款労働費は1,103万3,000円で、前年度と比較して32万5,000円の増となります。

1目労働諸費の二重丸、若年者就労支援事業に要する経費30万3,000円は、高齢者及び保護者が砂川の企業を知り、働く意義を考える取り組みを砂川高校、企業などと連携して行うことでキャリア教育の推進、地元での就職につながる環境づくりを推進するため、ワークショップなどを開催する経費であります。

6款農林費は9,955万1,000円で、前年度と比較して580万2,000円の増となります。

2目農業振興費の一つ丸、農業振興事業に要する経費で水稻種子温湯殺菌消毒補助金20万8,000円は、安心かつ安全な米づくり及び高品質で売れる米づくりを促進し、稲作農業の振興を図るため、農薬の使用を削減する手法の一つである水稻種子温湯消毒殺菌に係る経費の一部を補助するものであります。同じく一つ丸、鳥獣被害対策に要する経費で鳥獣被害対策実施隊員報酬60万8,000円は、ヒグマ、エゾシカの出没件数が増加し、鳥獣被害対策実施隊員のパトロール、駆除における危険度も増してきていることから、出動分、駆除分の加給を行うため、増となるものであります。同じく二重丸、農業体験事業に要する経費9万2,000円は、市内で新規就農を希望する方を対象として、先進農家での1週間程度の農業体験事業をお試し暮らしの住宅を利用して実施をするものであり、就農へのきっかけづくりに取り組むことで新規就農者の増加を図るための経費であります。

3目農業基盤整備事業費の一つ丸、農業農村整備に要する経費で道営砂川地区農村地域防災減災事業負担金60万円は、北海道が実施主体として行う平成23年度の豪雪により被災して不用となった豊沼奈江川にかかる農業用水水管橋の撤去について、北海土地改良区の負担金を受け、費用の一部について負担するものであります。

7款商工費は1億2,501万円で、前年度と比較して297万7,000円の増となります。

1目商工振興費の一つ丸、商工業振興対策に要する経費で企業支援パンフレット作成費18万円は、市内企業のほか、市外、道外企業へ新規開店補助、融資制度、創業者事業支援、中小企業大学校、企業振興促進補助金等の総合的な支援策を情報発信するため、パンフレットを作成するものであります。プレミアム商品券発行事業補助金400万円は、市

内における消費の喚起と地域経済の活性化を図るため、1セット1万円につき2,000円のプレミアムとし、2,000セット発行する商工会議所が実施するプレミアム商品券発行事業に対して補助するものであり、商店街連合会商品券発行事業補助金200万円は、砂川商店会連合会が主催する夏のトリプルチャンス抽せん会、ウインターチャンスセールにおける商品券の発行、NPO法人ゆうなどのイベントと連携した割引券つきのチラシの配布による回遊事業、各商店の方が講師となって専門知識を伝え、受講者に抽せんで商品券を贈るまちゼミ事業に対し補助するものであり、日本商工会議所青年部第29回北海道ブロック大会補助金50万円は、日本商工会議所青年部が開催する日本商工会議所青年部第29回北海道ブロック大会が10月に砂川市で開催されることから、経費の一部を補助するものであります。同じく二重丸、スイートロード事業補助金76万4,000円は、中心市街地活性化協議会のソフト事業として実施されていたスイートロード事業について、スイートロード協議会が体制強化を図るとともに、砂川スイーツとしてふるさと名物応援宣言をしたことから、スイートロードについてさらなるPRに努めるため、補助するものであります。

2目企業誘致費の二重丸、東京砂川会に要する経費40万7,000円は、隔年で開催する総会の開催経費であります。

3目観光費の一つ丸、宣伝誘致活動に要する経費で観光用ポスター作成費21万6,000円は、砂川市の魅力を市内外で情報発信するため作成するものであり、パンフレット作成費145万8,000円は、観光客を中心に手にとっていただきやすいデザインの簡易版のパンフレットのほか、台湾、中国からの来訪者にも対応するパンフレットを作成するものであります。

8款土木費は12億5,602万1,000円で、前年度と比較して3,349万3,000円の減となりますが、主な要因につきましては、道路橋梁新設改良事業費1億5,644万4,000円の減、道路橋梁の修繕工事2,529万7,000円、護岸改修事業費2,160万円、市営住宅の改善工事などの工事費3,524万7,000円、改良住宅の改善工事などの工事費2,550万円の増によるものであります。

1目土木総務費の一つ丸、土木事務に要する経費で土木積算システム使用料58万2,000円は、土木工事の積算に用いている北海道土木工事積算基準にかわり、北海道が利用する北海道土木工事設計積算システムを共同利用するための使用料であります。

2目道路橋梁維持費の二重丸、道路橋梁の修繕工事費8,789万7,000円は、1路線の舗装補修、2橋の橋梁の長寿命化修繕に係る工事費、橋梁の修繕工事に向けた調査委託料、12橋の橋梁点検委託料であります。同じく一つ丸、流雪溝の維持管理に要する経費でポンプ室整備委託料85万2,000円は、ポンプ室施設に老朽化による破損等が生じていることから、国の負担割合に応じた負担を受け、修繕を実施する委託料であります。

次に、37ページになります。3目道路橋梁新設改良費の二重丸、道路橋梁新設改良事業費3億5,195万円は、記載のとおり改良舗装工事13路線、舗装工事2路線に係る工事費、委託料に加え、来年度以降に行う3路線の委託料及び街路灯設置工事として車両通行の安全を確保するため交差点などにLEDの街路灯10灯を設置する工事費であります。

1目河川費の二重丸、護岸改修事業費2,540万円は、融雪及び大雨による増水によって護岸が崩れた2河川の護岸改修工事費及び3河川の調査測量委託料であります。

1目都市計画総務費の一つ丸、都市計画事務に要する経費で都市計画用途地域等変更委託料1,340万3,000円は、都市計画マスタープランに即した周辺環境との調和に配慮した用途地域の見直し及び交通量などに応じた街路網の見直しを図るための委託料であります。同じく二重丸、JR砂川駅設備改善事業に要する経費939万6,000円は、高齢者、障害者等を初めとする市民が安全かつ快適に移動できるように、JR砂川駅の跨線橋のバリアフリー化や上りプラットホームの待合環境改善に向け、測量などの調査を行い、複数のプランを検討するため委託する経費であります。

2目公園管理費の一つ丸、公園の維持管理に要する経費で工事請負費766万6,000円は、公園長寿命化計画に基づき、安全、安心な公園を保つため、こぼと公園のトイレを水洗化するため建てかえる公園施設改築工事、4カ所の公園の滑り台などの遊具を改修する公園施設長寿命化遊具修繕工事を行うものであります。同じく二重丸、砂川緑地の復旧に要する経費3,900万円は、占用している河川緑地を国に返還するため、施設の撤去を計画的に行うもので、旧ゴルフ場では散水用施設、排水管など、旧ゴルフ練習場では照明設備などの撤去工事を行う経費であります。

1目市営住宅管理費の一つ丸、市営住宅の管理に要する経費で北光団地用地確定測量業務委託料2,721万6,000円は、北光団地用地について土地利用目的ごとに分筆し、公営住宅跡地の有効活用などを図っていくための用地確定測量を、今年度までの2カ年の継続費で実施する委託料であります。工事請負費5,214万7,000円は、老朽化により破損等が見られる非常用照明をLED灯に改修する非常用照明LED化工事、長寿命化を図る宮川中央団地屋根、外壁改善工事、宮川団地住みかえに伴う空き住棟の解体を行う宮川団地解体工事、団地内公園の再整備を図る北光団地公園環境整備工事、現行の耐震基準に適合するよう改修する三砂ふれあい団地エレベーター耐震改修工事を行うものであります。備品購入費39万円は、団地内の公園、緑地帯の草刈りを行う自治会等に対し草刈り機等を貸し出しているところであり、新たに東町町内会に刈り払い機を貸し出すための経費及び製造から10年を経過した北光団地に設置されている消火器63本を更新するものであります。同じく一つ丸、改良住宅の管理に要する経費で工事請負費9,706万円は、老朽化により破損等が見られる非常用照明をLED灯に改修する非常用照明LED化工事、長寿命化を図る宮川中央団地屋根、外壁改善工事、宮川中央団地排水管改修工事

を行うものであります。

2目住宅管理費の二重丸、ハートフル住まい推進事業に要する経費4,780万円は、砂川市住生活基本計画に基づき、安心、安全に暮らせる住環境づくり、地元企業支援、まちなか居住の推進を目的として、高齢者等安心住まい住宅改修補助金、永く住まい住宅改修補助金、子育て支援補助金、まちなか住まい等住宅促進補助金、子育て支援補助金、新規移住祝金、管理不全な空き家の予防を目的として老朽住宅除却費補助金、地球温暖化防止の促進を目的として住宅用太陽光発電システム導入費補助金を補助する経費であります。同じく二重丸、空き家等対策計画策定に要する経費593万9,000円は、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等対策推進協議会を設置して協議を進め、業務委託して空き家等対策計画を策定するとともに、空き家等の実態を把握するための調査を委託する経費であります。同じく二重丸、住み替え支援事業に要する経費14万5,000円は、住みかえしやすい環境の整備に向け、民間企業、団体、協会、介護関係事業者等を構成員とする住み替え支援協議会を設立し、空き家の掘り起こし、情報発信、入居あっせん、仲介等を行うため、研修会を開催する経費のほか、事務経費であります。

9款消費費は4億1,337万6,000円で、前年度と比較して5,094万円の増となりますが、主な要因につきましては、防災備蓄倉庫建設事業費4,470万円の増であります。

2目災害対策費の一つ丸、災害対策に要する経費で防災対策推進員報酬191万7,000円は、災害発生時における災害応急対策活動を行うには陸上自衛隊滝川駐屯地との連携が不可欠であることから、連携の強化を図るため退職自衛官を任用するものであり、火災等保険料5,000円、警備等委託料9万円は、防災備蓄倉庫の完成後の管理に係るものであります。同じく二重丸、防災備蓄倉庫建設事業費4,470万円は、食料、水、毛布、銀マット等の災害備蓄品は市内4カ所に分散し、保管しておりますので、災害発生時に避難者に対し備蓄品を円滑に提供できるよう、積雪期にも対応できる防災備蓄倉庫の建設工事費であります。

次に、38ページになります。10款教育費は6億6,881万5,000円で、前年度と比較して4億7,217万4,000円の減となりますが、主な要因につきましては、公民館の耐震改修等工事5億4,174万1,000円の減、幼稚園就園奨励補助金79万8,000円、小学校の改修工事5,631万2,000円、市営野球場の改修工事実施設計等委託料1,403万3,000円の増によるものであります。

2目事務局費の二重丸、幼稚園就園奨励補助金2,141万6,000円は、保護者の経済的な負担軽減を図るため、国で拡充される低所得者層における多子世帯の年齢制限撤廃やひとり親世帯への補助基準を含め、国に準拠するほか、多子世帯については子供の年齢制限を撤廃して補助するものであります。同じく一つ丸、砂川高校の支援に要する経費は、砂川高校の生徒に対して支援を行うことで教育活動の効果を上げ、砂川高校の魅力を

高め、進学希望者の増加を促すための経費であり、検定試験受験料補助金42万5,000円は各種資格取得に係る受験料の2分の1、模擬試験受験料補助金40万円は大学、看護学校入試、公務員試験などの模擬試験受験料の2分の1、大学見学補助金15万円は砂川高校が実施するオープンキャンパスなど大学見学の車借り上げに係る経費の全額、介護職員初任者研修補助金50万円は介護職員初任者研修の受講料を上限額の範囲内で全額を補助するものであります。

1目小学校管理費の一つ丸、学校の管理に要する経費で校舎内床ワックス塗布委託料67万円は、児童のけが防止と床の延命化を図るため砂川小学校の体育館、廊下について実施する委託料であります。工事請負費8,583万3,000円は、老朽化により停電事故が懸念される高圧引き込みケーブルを取りかえる砂川小学校高圧ケーブル改修工事、老朽化によりふぐあいが生じている放送設備、防災盤などを改修する豊沼小学校電気設備改修工事、塗装の劣化により凍害等が著しいプール上屋の塗装などを行う中央小学校プール改修工事、老朽化が進む校舎、体育館の外壁の塗装などを行う北光小学校外壁改修工事、老朽化が進み、危険となった遊具を撤去し、新たな遊具を設置する北光小学校遊具設置工事、新たにキュービクル内に漏電遮断器を設置する北光小学校漏電遮断器設置工事を行うものであります。備品購入費135万2,000円は、体育館ステージ上に掲揚する国旗、道旗、市旗プレートのほか、各学校の管理備品の購入費であります。

2目小学校教育振興費の二重丸、市費教員任用に要する経費569万円は、北光小学校第3、第4学年において児童数が合わせて15人となり、複式学級となるものでありますが、児童の負担等を考慮し、単式学級を維持していくため、市の負担により教員を任用する経費であります。

1目中学校管理費の一つ丸、学校の管理に要する経費で工事請負費1,475万円は、経年劣化が進み、遮光がされなくなった体育館の暗幕を取りかえる砂川中学校屋体暗幕改修工事、老朽化した給排水設備の改修にトイレの洋式化をあわせて行う石山中学校給排水設備改修工事、老朽化により停電事故が懸念される高圧引き込みケーブルを取りかえる石山中学校高圧ケーブル改修工事を行うものであります。備品購入費79万5,000円は、体育館ステージ上に掲揚する国旗、道旗、市旗プレート、印刷機のほか、各学校の管理備品の購入費であります。

2目中学校教育振興費の二重丸、教師用教科書、指導書に要する経費171万3,000円は、平成28年度からの中学校教科書の改訂に伴い、教職員の指導方法の平準化を図り、生徒が均一な学習を受けられるようにするための教師用教科書と指導書を購入する経費であります。

1目社会教育費の一つ丸、芸術文化事業に要する経費で地域の文化・芸術活動事業補助金290万円は、文化芸術の振興により創造性豊かな地域づくりの推進を図るため、NPO法人ゆうが実施する事業に対し補助するものであります。同じく一つ丸、社会教育振興

に要する経費で備品購入費12万円は、ふぐあいが生じている用紙裁断機を更新するものであります。同じく一つ丸、青少年健全育成事業に要する経費で講師等謝礼5万7,000円は、子供たちの健全育成のため、土曜日における体験活動の充実が図られるよう青少年の体験活動を行っている団体等が土曜日の教育支援事業運営委員会を組織し、連携体制の構築を図ることから、委員に対する謝礼であり、車借り上げ料7万8,000円は、児童を対象として家庭教育サポート企業の協力を得て職場体験を実施するためのバス借り上げ料であります。同じく一つ丸、地域交流センターの運営管理に要する経費で施設パンフレット作成費54万円は、利用の手引を盛り込んだパンフレットを作成するものであり、備品購入費3万4,000円は、傷みの激しいプロジェクタースクリーンを更新するものであります。同じく二重丸、地域交流センター開設10周年記念事業実行委員会交付金30万円は、平成29年1月に地域交流センターが開設10周年を迎えることから、記念行事や記念誌の発行等に要する経費の一部を実行委員会に交付するものであります。

2目公民館費の一つ丸、公民館の管理に要する経費で備品購入費26万8,000円は、経年劣化が進んでいる陶芸窯及び周囲の草刈り作業に使用している刈り払い機を更新するものであります。

3目図書館費の一つ丸、図書館の運営管理に要する経費で児童書架改修工事費530万円は、図書館内での子供の足音や声、おはなし会などの事業に敏感に反応する一般利用者が多いことから、乳幼児、児童、保護者が気兼ねすることなく利用できるよう、独立した児童書架スペースを確保するための改修工事費であります。備品購入費62万7,000円は、乳幼児、児童が利用しやすい絵本の展示棚、児童用椅子などの購入費であります。

2目体育施設費の一つ丸、海洋センターの管理に要する経費で体育館改修工事費7,628万円は、課題となっていた海洋センター第1体育館の天井に吹きつけられているアスベストの除去にあわせ、照明設備のLED化、床の改修を行う工事費であります。同じく一つ丸、市営野球場の管理に要する経費で改修工事実施設計等委託料1,403万3,000円は、市営野球場の各種設備について老朽化によりふぐあいが生じていることから、改修工事に取り組むため、各種設計業務等の委託料であります。同じく一つ丸、陸上競技場の管理に要する経費で備品購入費12万2,000円は、故障が発生し、修理できない刈り払い機2台を更新するものであります。

1目給食センター費の一つ丸、学校給食の実施に要する経費で備品購入費1,417万2,000円は、洗浄機で洗浄した食器を高温消毒する食器用消毒保管庫が損耗してきており、計画的に1年に1台ずつ更新をするほか、トレイを運ぶ箱などを更新するものであります。

次に、39ページになります。11款公債費は12億3,042万円で、前年度と比較して1億3,052万8,000円の減となります。

12款諸支出金は30億6,722万8,000円で、前年度と比較して1,746万

4, 000円の減となります。

増減につきましては記載のとおりであります。3目病院会計繰出金は2,088万3,000円の減となりますが、地方交付税算定における病院事業債の償還の減、過疎対策事業債の償還の増などによる普通交付税分の減、基礎年金拠出金分の増などによる特別交付税分の増が主な要因であります。

13款職員費は14億2,815万3,000円で、前年度と比較して2,029万7,000円の減となりますが、主な要因につきましては新陳代謝などによる給料、共済組合等負担金の減であります。

以上が歳出であります。

次に、歳入について申し上げますが、お戻りをいただきまして30ページをごらんいただきたいと存じます。主なもののみ説明をさせていただきます。

1款市税は20億55万7,000円で、前年度と比較して220万7,000円の減となりますが、主な要因につきましては、法人市民税で法人税割の税率の引き下げの標準化などにより1,189万1,000円の減、固定資産税で償却資産の新規投資の増により1,925万9,000円の増、市たばこ税で1,062万円の減であります。

6款地方消費税交付金は4億2,181万5,000円で、前年度と比較して8,165万2,000円の増となりますが、主な要因につきましては消費税の推移などを勘案したことによるものであります。

次に、31ページになります。10款地方交付税は46億2,400万円で、前年度と比較して4,500万円の増となりますが、地方財政対策では地方交付税は前年度比546億円の減額が示されたところであり、普通交付税は昨年実績をもとに国で示された推計伸び率を用い算定し、これに起債償還分を加えた結果、基準財政需要額は増額を見込みましたが、基準財政収入額では減額を見込みましたので、4,500万円の増としたところであります。

次に、32ページになります。14款国庫支出金は11億7,468万円で、前年度と比較して1億1,214万8,000円の減となります。

1目民生費国庫負担金で知的障害者福祉費1,593万8,000円の増は自立支援給付費の増によるものであり、生活保護費1,532万5,000円の減は医療扶助費等の減が主なものであります。

1目土木費国庫補助金で社会資本整備総合交付金事業費1,476万1,000円の増は、改良住宅等の長寿命化改善事業、橋梁長寿命化修繕事業の増、道路整備事業の減が主なものであります。

2目教育費国庫補助金で社会資本整備総合交付金事業費1億2,843万9,000円の減は、公民館耐震改修等事業、総合体育館耐震改修等事業の減が主なものであります。

18款繰入金は1億8,943万3,000円で、前年度と比較して1億2,229万

9,000円の減となりますが、主な要因につきましては、財政調整基金繰入金1億4,842万円の減、ふるさと納税などの寄附金を積み立てた基金から各事業に充当するまちづくり事業基金繰入金918万6,000円、社会福祉事業振興基金繰入金1,677万1,000円の増であります。

次に、33ページ、20款諸収入は8億4,540万7,000円で、前年度と比較して3,567万9,000円の減となりますが、主な要因につきましては、地域海洋センター修繕助成金3,150万円、スポーツ振興くじ助成金480万円の皆減によるものであります。

21款市債は9億4,600万円で、前年度と比較して3億7,100万円の減となりますが、主な要因につきましては、土木債で公共事業等債1,320万円の減、公営住宅建設事業債2,920万円の増であり、教育債で一般単独事業債3,540万円の皆増であり、過疎対策事業債で道路整備事業債4,810万円の減、市営野球場整備事業債1,400万円の皆増、公民館耐震改修事業債3億9,090万円、海洋センター改修等事業債3,700万円の皆減であり、全国防災事業債で4,470万円の皆増によるものであります。

以上が歳入であります。予算書の212ページ以降には給与費明細書、継続費に関する調書、債務負担行為に関する調書、地方債に関する調書を添付しておりますので、ご高覧の上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

〔何事か呼ぶ者あり〕

失礼いたしました。1点訂正がございます。最初の説明の中で、括弧内の数字の説明の際に平成27年度6月補正後の予算と言うべきところを平成26年度6月補正後の予算と申しました。訂正させていただきます。

あと、もう一点ございます。労働諸費の説明の中で、二重丸、若年者就労支援事業に要する経費30万3,000円の部分につきまして、高校生及び保護者が砂川の企業を知りというところを高年齢者及び保護者が砂川の企業を知りと申し上げました。こちらにつきましても訂正をお願い申し上げます。

○議長 飯澤明彦君 議案第8号の提案説明は休憩後に行います。

10分間休憩します。

休憩 午前10時57分

再開 午前11時08分

○議長 飯澤明彦君 休憩中の会議を開きます。

休憩前に引き続いて提案説明を求めます。

市民部長。

○市民部長 高橋 豊君 (登壇) 私から議案第8号、議案第10号、議案第11号についてご説明申し上げます。



初めに、議案第8号 平成28年度砂川市国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書の227ページをお開き願います。第1条は、歳入歳出予算であり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ28億2,494万2,000円と定めるものであります。

第2条は、一時借入金であり、一時借入金の借り入れの最高額は、3億円と定めるものであります。

第3条は、歳出予算の流用であり、保険給付費の各項に計上した予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の金額を流用することができるものと定めるものであります。

それでは、主なものについて歳出からご説明申し上げます。262ページをお開き願います。1款総務費、1項1目一般管理費で対前年比26万1,000円の減は、主に一般管理事務に要する経費の給料の減によるものであります。なお、一般管理事務に要する経費のうち、アンダーラインを付しております番号制度システム整備委託料97万6,000円は、番号制度に対応するためシステムを改修するものであります。

268ページをお開き願います。2款保険給付費、1項1目一般被保険者療養給付費で対前年比5,174万3,000円の増、2目退職被保険者等療養給付費で対前年比2,300万2,000円の減、3目一般被保険者療養費で対前年比5万9,000円の減、4目退職被保険者等療養費で対前年比23万6,000円の減、270ページになります。2項1目一般被保険者高額療養費で対前年比200万円の増、2目退職被保険者等高額療養費で対前年比80万6,000円の減は、それぞれ平成27年度の決算見込み額と同額程度を見込み、さらに退職者医療制度の廃止に伴い、徐々に退職被保険者が一般に移行することを考慮したものであります。

4項1目出産育児一時金で対前年比84万円の増は、平成27年度の決算見込み額と同額を見込むものであります。

272ページをお開き願います。3款後期高齢者支援金等、1項1目後期高齢者支援金で対前年比1,446万1,000円の減は、主に平成26年度分の精算分、過誤調整によるものであります。

278ページをお開き願います。6款介護納付金、1項1目介護納付金で対前年比892万2,000円の減は、第2号被保険者の減及び平成26年度の精算分、過誤調整によるものであります。

280ページをお開き願います。7款共同事業拠出金、1項1目高額医療費共同事業医療費拠出金で対前年比531万8,000円の増は、全道の対象費用見込み額の上昇と砂川市が全道に占める対象医療費の割合、拠出率が上がったことによるものであります。

3目保険財政共同安定化事業医療費拠出金で209万6,000円の減は、平成26年度以前分の医療費割の精算によるものであります。

282ページをお開き願います。8款保健事業費、1項1目特定健康診査等事業費で対前年比156万9,000円の増は、主に特定健康診査に要する経費の増によるもので、アンダーラインを付しております賃金250万円は臨時保健師賃金を追加したことによる費用、講師謝礼20万円は医療分析データの作成に係る技術指導の費用、燃料費7万3,000円は未受診者対策で訪問勧奨に要する車両の燃料代によるものであります。

284ページになります。2項1目疾病予防費で対前年比13万4,000円の増は、主ながん検診の受診向上のため受診機会の拡大を図ることによるものであります。

292ページをお開き願います。12款前年度繰上充用金8,600万円につきましては、平成27年度の収支不足を補うものであります。

以上が歳出であります。歳入につきましては233ページ、総括でご説明させていただきます。1款国民健康保険税は2億7,536万8,000円で、対前年比3,968万7,000円の減であり、主に一般被保険者国民健康保険税の所得割の減によるものであります。

2款国庫支出金は6億8,455万2,000円で、対前年比4,452万4,000円の増であり、主に療養給付費等負担金の増によるものであります。

3款療養給付費等交付金は8,454万3,000円で、対前年比1,105万8,000円の減であり、退職被保険者数の減少等に伴う医療費の減によるものであります。

4款前期高齢者交付金は6億4,640万円で、対前年比6,590万円の減であり、主に平成26年度の精算、過誤調整によるものであります。

5款道支出金は1億6,027万円で、対前年比2,324万3,000円の増であり、主に対象医療費の増によるものであります。

7款共同事業交付金は6億5,130万円で、対前年比6,150万円の増であり、主に対象医療費の増によるものであります。

8款繰入金は2億212万7,000円で、対前年比1万5,000円の増であり、主に国の財政支援措置を含めた一般会計繰入金の増によるものであります。

10款諸収入は1億2,037万9,000円で、対前年比2,600万円の増であり、主に収支不足を補填する雑入の増によるものであります。

以上が歳入であります。予算書の296ページから303ページには給与費明細書を添付しておりますので、ご高覧の上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第10号 平成28年度砂川市介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書の351ページをお開き願います。第1条は、歳入歳出予算であり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ18億6,090万9,000円と定めるものであります。

第2条は、一時借入金で、一時借入金の借り入れの最高額は、1億円と定めるものであります。

第3条は、歳出予算の流用であり、保険給付費の各項に計上した予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の金額を流用することができるものと定めるものであります。

それでは、主なものについて歳出からご説明申し上げます。378ページをお開き願います。1款総務費、1項1目一般管理費で対前年比1,695万5,000円の減は、介護保険システムの更新終了に伴う減が主なもので、新規事業としまして昨年度に引き続きマイナンバー制度に伴うシステム整備として、アンダーラインを付しております番号制度システム整備委託料208万5,000円を計上するものであります。

382ページをお開き願います。2款保険給付費、1項1目居宅介護サービス給付費で対前年比2,060万2,000円の減は、介護保険制度改正に伴い、定員18人以下の小規模デイサービスが地域密着型サービスへ移行することによる減、及び昨年10月に開設した特定施設のサービスつき高齢者向け住宅の入居者増を見込んだことによる増が主な要因であります。

2目地域密着型介護サービス給付費で対前年比1億4,244万8,000円の増は、ただいまご説明いたしました小規模デイサービスの移行による増、及び介護保険計画に基づき本市においては新たなサービスとなります小規模多機能型居宅介護サービスの事業所の新設を予定していることが主な要因であります。

3目施設介護サービス給付費で対前年比1,629万円の減は、主に平成27年度の介護報酬マイナス改定によるものであります。

384ページをお開き願います。2項1目介護予防サービス給付費で対前年比2,536万3,000円の減は、総合事業開始に伴う訪問介護及び通所介護の地域支援事業への移行が主な要因であります。

2目地域密着型介護予防サービス給付費で対前年比1,013万4,000円の増は、小規模多機能型居宅介護サービスの新設を予定していることが主なものであります。

394ページをお開き願います。4款地域支援事業費、1項1目介護予防・生活支援サービス事業費4,284万7,000円、2目介護予防ケアマネジメント事業費584万5,000円、3目審査支払手数料12万7,000円は、いずれも総合事業開始に伴う保険給付費からの移行が主なものであります。

2項1目一般介護予防事業費1,403万6,000円は、同じく総合事業開始に伴う二次予防事業費及び一次予防事業費からの移行によるものであり、うち新規事業としまして、397ページをお開き願います。アンダーラインを付しております会場借り上げ料46万3,000円は、地域におけるサロン活動の新たな支援策として活動の場となるコミュニティセンター等の使用料の負担軽減を行うための経費であり、これにより介護予防事業のさらなる充実を図るものであります。

以上が歳出であります。歳入につきましては357ページの総括でご説明申し上げます。

す。1款保険料は3億1,636万8,000円で、対前年比528万8,000円の減であり、所得階層上位の被保険者数の減によるものであります。

2款分担金及び負担金は145万7,000円で、対前年比3万6,000円の増であり、紙おむつ利用件数及び情報共有ネットワーク事業費の若干の増を見込んでおります。

3款国庫支出金は4億6,101万2,000円で、対前年比3,895万5,000円の増、4款支払基金交付金は5億235万5,000円で、対前年比3,930万7,000円の増、5款道支出金は2億8,452万2,000円で、対前年比1,945万2,000円の増、7款繰入金は2億9,465万5,000円で、対前年比2,843万7,000円の増、これらはいずれも保険給付費の増が主な要因であります。

6款財産収入53万1,000円は、基金運用利息であります。

8款繰越金、9款諸収入につきましては、前年度と同額であります。

なお、予算書の406ページ及び407ページには給与費明細書を添付しておりますので、ご高覧の上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第11号 平成28年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書の409ページをお開き願います。第1条は、歳入歳出予算であり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5億6,306万3,000円と定めるものであります。

それでは、主なものについて歳出からご説明申し上げます。426ページをお開き願います。1款総務費、1項1目一般管理費で対前年比311万7,000円の減は、主にアンダーラインを付しております番号制度システム整備委託料120万円の皆増があるものの、平成27年度に実施した後期高齢者医療システム機器更新委託料426万6,000円が皆減されたことによるものであります。

428ページをお開き願います。2款後期高齢者医療広域連合納付金、1項1目後期高齢者医療広域連合納付金で対前年比2,013万2,000円の減は、主に保険料分担金の減によるものであります。

430ページをお開き願います。3款保健事業費、1項1目健康保持増進事業費で対前年比3万7,000円の減は、主に健康診査委託料の減によるものであります。

以上が歳出であります。歳入につきましては413ページ、総括でご説明させていただきます。1款後期高齢者医療保険料は2億170万2,000円で、対前年比1,709万円の減であり、主に所得割賦課対象額の減によるものであります。

3款繰入金は3億5,824万円で、対前年比605万1,000円の減であり、一般会計繰入金のうち、主に療養給付費分繰入金の減によるものであります。

5款諸収入は311万9,000円で、対前年比14万4,000円の減は、健康診査の減に伴う受託事業収入の減によるものであります。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長 飯澤明彦君 建設部長。

○建設部長 古木信繁君 (登壇) 議案第9号 平成28年度砂川市下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書の305ページをお開き願います。第1条は、歳入歳出予算であり、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億9,696万5,000円と定めるものであります。

第2条は、地方債であり、308ページ、第2表、地方債に記載のとおり、限度額を1億9,280万円と定めるものであります。

第3条は、一時借入金であり、一時借入金の借入れ最高額を3億円と定めるものであります。

予算の主な内容につきましては、328ページの歳出から前年度予算との比較でご説明申し上げます。1款下水道費、1項1目一般管理費812万8,000円の増は、一つ丸、一般管理事務に要する経費で企業会計移行業務委託料1,497万円の増と消費税669万2,000円の減が主なものであります。なお、アンダーラインを付しております企業会計移行業務委託料は、総務大臣通知により地方公営企業法の財務規定等を適用していない公営企業について公営企業会計に移行するよう通知があったところであり、この移行に伴う公共下水道資産台帳整備及び企業会計システムの構築を行う経費でございます。今後3カ年をめどに公営企業会計移行に係る準備を行い、平成31年度からの適用を予定しております。

次に、2目維持管理費350万7,000円の減は、一つ丸、下水道管渠の維持管理に要する経費で、石狩川流域下水道組合負担金296万2,000円の減が主なものであります。

330ページをお開き願います。3目水洗化促進費50万円の減は、一つ丸、水洗化促進に要する経費で水洗便所改造資金貸付金50万円の減が主なものであります。

332ページをお開き願います。4目公共下水道整備事業費2,022万6,000円の増は、二重丸、公共下水道整備事業費で委託料840万円の増、工事請負費1,200万円の増が主なものであります。平成28年度の事業につきましては、説明欄に記載のとおり、交付金事業として石狩川6号幹線管渠改築工事第1工区、第2工区、焼山3号幹線管渠新設工事、単独事業として公共下水道管渠新設工事第1工区、第2工区を予定しております。また、委託料では公共下水道事業計画変更業務委託ほか4件を予定しております。

334ページをお開き願います。5目流域下水道整備事業費464万6,000円の減は、一つ丸、流域下水道整備事業費で北海道が施行する流域下水道整備事業費の減に伴う流域下水道整備工事負担金493万3,000円の減が主なものであります。

336ページをお開き願います。2款個別排水処理事業費、1項1目個別排水処理事業費18万5,000円の増は、二重丸、整備事業に要する経費で水洗便所改造資金貸付金50万円の減、一つ丸、維持管理に要する経費で浄化槽設置基数の増加に伴い、浄化槽維

持管理委託料51万7,000円の増が主なものであります。

338ページをお開き願います。3款公債費、1項1目元金466万3,000円の減は、一つ丸、下水道地方債償還元金で過去に借り入れした起債の償還終了に伴う減であります。

2目利子1,089万円の減は、一つ丸、下水道地方債償還利子で過去に借り入れした起債の償還終了に伴う減であります。

340ページをお開き願います。4款諸支出金、1項1目過年度過誤納還付金4,000円の減は、交付金事業で行う改築工事により発生する撤去鋼材等の売却収益の減に伴う国庫返納額の減であります。

次に、歳入につきましては309ページの総括でご説明申し上げます。1款分担金及び負担金で5万1,000円の増は、受益者分担金の現年賦課分の増が主なものであります。

2款使用料及び手数料で1,147万2,000円の減は、下水道使用料現年分の減が主なものであり、汚水排水量が減少していることによるものであります。

3款国庫支出金で65万円の増は、交付金事業の増によるものであります。

4款繰入金は、下水道事業特別会計の収支調整のため、一般会計からの繰り入れであり、1,904万4,000円の増は、下水道使用料現年分の減と公共下水道整備事業費における単独事業費の増により収支不足調整額が増加していることが主な要因であります。

6款諸収入で31万5,000円の減は、水洗便所改造資金貸付金元利収入の減が主なものであります。

7款市債で360万円の減は、償還元金の減による資本費平準化債2,440万円の減、公営企業会計適用債1,490万円の増が主なものであります。

以上が歳入でございます。

なお、342ページ以降は関連調書を添付しておりますので、お目通しをいただき、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長 飯澤明彦君 病院事務局長。

○病院事務局長 氏家 実君 (登壇) 議案第12号 平成28年度砂川市病院事業会計予算につきましてご説明申し上げます。

1ページをごらんいただきたいと存じます。第2条は、業務の予定量であり、(1)病床数は498床、(2)年間患者数は入院を13万6,726人、外来を25万7,743人とし、(3)1日平均患者数は入院を375人、外来を1,056人と予定したところであります。(4)主要な建設改良事業は、医療機械器具整備事業であります。

第3条は、収益的収入及び支出であり、病院事業収益は121億7,268万2,000円、病院事業費用は136億2,593万6,000円と定めるものであります。

2ページをお開きいただきたいと存じます。第4条は、資本的収入及び支出であり、資本的収入は6億3,205万8,000円、資本的支出は10億2,566万3,000

円と定め、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3億9,360万5,000円は、過年度分損益勘定留保資金で補填するものであります。

第5条は、企業債であり、医療機械器具整備事業の起債限度額を2億1,640万円と定めるものであります。なお、起債の方法、利率、償還の方法は、それぞれ記載のとおりであります。

第6条は、一時借入金の限度額を3億円と定めるものであります。

第7条は、予定支出の各項の経費の金額の流用であり、消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における医業費用及び医業外費用の間の流用と定めるものであります。

第8条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費であり、(1)職員給与費70億9,638万2,000円、(2)交際費300万円と定めるものであります。

第9条は、重要な資産の取得及び処分で、機械備品としてデジタルエックス線テレビ撮影装置、血管造影撮影装置及び放射線画像情報管理システムを取得するものであります。

4ページをお開きいただきたいと存じます。収益的収入であります。1項医業収益は、前年度より6億8,979万1,000円増の109億7,153万2,000円を予定したところであります。

主な内容といたしましては、1目入院収益は前年度より4億8,315万2,000円増の77億3,725万9,000円で、1人当たりの診療単価では前年度より3,225円増の5万6,590円、2目外来収益は前年度より1億8,659万6,000円増の29億8,392万6,000円で、1人当たりの診療単価では前年度より1,001円増の1万1,577円、3目その他医業収益は前年度より2,004万3,000円増の2億5,034万7,000円を予定したところであります。

2項医業外収益は、前年度より3,010万5,000円減の11億398万7,000円を予定したところであります。主な内容といたしましては、1目受取利息配当金は前年度より20万4,000円減の13万6,000円、2目補助金は前年度より155万1,000円減の5,036万4,000円、6ページをお開きいただきたいと存じます。3目負担金交付金は国の交付税算定に基づいた市からの繰入金であり、前年度より2,705万3,000円減の8億6,298万4,000円、4目患者外給食収益は前年度と同額の48万6,000円、5目長期前受金戻入は前年度より20万2,000円減の7,479万8,000円、6目その他医業外収益は前年度より109万5,000円減の1億1,521万9,000円を予定したところであります。

3項看護専門学校収益は、前年度より1,224万5,000円増の7,980万7,000円を予定したところであります。

4項院内保育事業収益は、前年度より226万9,000円増の1,705万5,000円を予定したところであります。

8ページをお開きいただきたいと存じます。5項特別利益は、前年度と同額の30万1,

000円を予定したところであります。

10ページをお開きいただきたいと存じます。収益的支出であります。1項医業費用は前年度より3億6,979万6,000円増の133億5,218万8,000円を予定したところであります。

主な内容といたしましては、1目給与費は職員数の増や法定福利費の増加に伴い、前年度より4億3,659万3,000円増の70億1,082万4,000円を予定したところであります。

12ページをお開きいただきたいと存じます。2目材料費は、1節薬品費で入院患者数の増加などに伴い、前年度より1億2,299万4,000円増の30億9,567万6,000円。

3目経費は、燃料費では重油の単価下落や、委託料では医療機器の保守点検の見直しなどに伴い減額となったものの、修繕費や賃借料の増加などに伴い、前年度より1,796万4,000円増の18億4,931万5,000円を予定したところであります。

16ページをお開きいただきたいと存じます。4目減価償却費は、新病院開院時に購入した医療機器の減価償却が一部終了したことから、前年度より2億1,019万7,000円減の12億9,098万円。

5目資産減耗費は、除却予定の医療機器が存在することから、前年度より192万4,000円増の192万5,000円。

6目研究研修費は、前年度より51万8,000円増の1億346万8,000円を予定したところであります。

18ページをお開きいただきたいと存じます。2項医業外費用は、前年度より2,940万2,000円減の1億2,508万2,000円を予定したところであります。

主な内容といたしましては、1目支払利息及び企業債取扱諸費は、企業債利息の減に伴い、前年度より3,168万8,000円減の1億935万7,000円を予定したところであります。

3項看護専門学校費用は、前年度より2,354万1,000円減の1億1,263万3,000円を予定したところであります。

22ページをお開きいただきたいと存じます。4項院内保育事業費用は、入所者の増に伴う委託料の増額により、前年度より736万6,000円増の3,139万8,000円を予定したところであります。

5項特別損失においては、前年度より13万5,000円増の463万5,000円を予定したところであります。

24ページをお開きいただきたいと存じます。資本的収入であります。1項企業債は、医療機器購入に係る借り入れ予定額で前年度より2,900万円増の2億1,640万円を予定したところであります。



3項出資金は、1目一般会計出資金において、国の交付税算定に基づいた市からの出資金で繰り入れ基準である企業債元金償還金の減に伴い、前年度より607万6,000円減の4億563万8,000円を予定したところであります。

26ページをお開きいただきたいと存じます。資本的支出であります。1項建設改良費は、1目資産購入費においてデジタルエクス線テレビ撮影装置などの医療機械器具の整備を図るものであり、前年度より2,650万2,000円増の2億2,488万2,000円を予定したところであります。

2項企業債償還金は、1目元金償還金において平成22年度に借り入れた改築時における医療機器購入に充てた企業債償還の一部が終了したことから、前年度より2億2,047万4,000円減の7億6,838万1,000円を予定したところであります。

3項投資は、1目長期貸付金において看護学生学資貸し付けを行うもので、前年度より2,108万4,000円増の3,240万円を予定したところであります。

28ページ以降は財務諸表など予算に関連する資料でありますので、ご高覧いただき、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

〔何事か呼ぶ者あり〕

先ほど収益的支出におきまして、2項医業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費において、前年度よりも3,168万8,000円と申し上げましたが、3,156万8,000円でございます。訂正方をお願いしまして、おわび申し上げます。

○議長 飯澤明彦君 以上で各議案の提案説明を終わります。

#### ◎休会の件について

○議長 飯澤明彦君 お諮りします。

3月14日は、議案調査等のため本会議を休会にしたいと思います。このことにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、3月14日は休会することに決定しました。

#### ◎散会宣告

○議長 飯澤明彦君 以上で本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会いたします。

散会 午前11時44分